

WINDOW



作品完成! (左からイ・ギテクさん、イ・ダインさん、チョン・スンジさん、シム・ジン先生)

2014
Autumn
No.61

特集

ヨ ス
**麗水情報科学高校(韓国)
まんが甲子園オープン参加**

- 当協会登録語学ボランティアのための通訳技能研修会開催
- 国際交流団体のご紹介
高知日本語サロン
- A Letter From Abroad
西本 未来(カナダ在住)
- 高知県国際交流員からのごあいさつ
- INFORMATION BOARD
南海トラフ地震対策多言語改訂版を発行しました!
異文化理解講座開催のご案内
国際ふれあい広場2014開催のご案内

KIA登録語学ボランティアのための 通訳技能研修会を開催しました

当協会には2014年8月末現在で276名の方に語学ボランティアとしてご登録いただいております。県内の団体や個人から当協会に寄せられる様々な分野の通訳又は翻訳の依頼に対応していただいております。2013年度は、延べ41名の方に語学ボランティアとして活動していただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

今年の2月、登録語学ボランティアのスキル向上に役立てていただく目的で、登録語学ボランティアの中から申し込みのあった32名を対象に、県外から講師をお迎えして、外国人住民のために通訳が必要となる場面を想定し、通訳ロールプレイ演習などを行う研修会を高知市内で開催しました。

研修会では、まず、当協会の担当職員が県内の外国人住民数やボランティアの活動状況を概説した後、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターの特任講師である内藤稔先生より、「3者間コミュニケーションにおけるコミュニティ通訳の役割」と題して講義を行っていただきました。



メモリーエクササイズなどの基礎演習の様子

会議通訳と対比させながら、今や200万人を超える外国人が生活する日本社会において、コミュニティ通訳は、外国人住民と地域住民とをつなぐ「橋渡し役」、「文化の仲介者」として、医療現場や教育現場などの様々な領域において、今後ますますその存在感を高めていくだろうとお話でした。

講義の後は、受講者お待ちかねの語学を使った演習に入りました。内藤先生によると、「通訳は、逐次に始まり逐次に終わる」と言われるくらい、逐次通訳は奥深いのだそうで、演習は、逐次通訳を正確に行うために不可欠なメモリーエクササイズやノートテイキング(メモ取り)といった基礎演習と、災害時



内藤先生による講義の様子

を想定した3人1組によるロールプレイ演習の2段構成で行われました。

語学が得意の語学ボランティアといえども、数字や固有名詞、災害用語の正確な記憶と外国語への即時の変換には少々手こずっている様子でした。また、災害時想定のリロールプレイでは、法律や制度などの周辺知識も要求されますので、平常時からそうした情報に意識して触れておくことの重要性を学んだ様子でした。

最後に、耳寄りな情報として、今年度も登録語学ボランティアを対象とした通訳又は翻訳の研修会を開催する予定です(開催時期は未定)。既に登録されている方はもちろん、未登録の方もボランティア登録をしさえすれば受講資格がありますので、当協会HPにあるフォームにより登録申請をよろしく願います。



3者間ロールプレイの様子

全国で一番外国人が少ない高知県ですが、気が付くと周りに外国人の姿をよく見かけるようになりました。高知日本語サロンは、2006年7月に定住外国人のための生活・日本語学習支援を目的に発足しました。その主な活動内容は大きく分けて2つあります。外国人に日本語を教えること(土曜日と木曜日の週2回、基本的に日本語で日本語を教えます)と日本文化を体験しながら交流すること(浴衣・着物の着付け、生け花、書道、日本料理)です。現在活動しているボランティアは20人程度です。日本語サロンの活動について、メンバーの声をいくつか紹介したいと思います。

1. このボランティア活動をしようと思った理由

以前日本語教師を目指していたから／ボランティアで外国の方に日本語を教えるということに興味を持ったから／以前から国際交流に大変興味があったので、高知にいながら交流出来る場を探していたから

2. 活動をして良かった点、気づいた点、あるいは困った点

①**良かった点**：普段会うことのない国の方と話せるので楽しい(イラン・モンゴル・ニュージーランド等)／異文化に触れることができ、ボランティアをしているつもりが逆に沢山のことを教えてもらったり知識を得たりすることができる／自分にとってとても大きくて新しい世界に足を踏み入れた感じがする。

②**困った点**：相手にとっていい教え方が分からない／教えた事がうまく伝わらないこと／参加する都度に違う学習者の方が来るので、事前の準備や学習者の方の日本語レベルに合わせての教え方が難しい

3. これから日本語サロンで活動してみようと思う方へのメッセージ

日本語教師の先生に教え方も相談できるので、とても心強い／視野が広がると思います／学習者の方の真摯に取り組む姿勢に毎回教えられるばかりです／異文化交流の楽しさは味わってみたいと分かりません。とても勇気のいる小さな一歩ですが、その先には大きな世界が待っています

「日本語で日本語を教える」というのは、日本語が話せるから教えられるとは限らず、日本語教育についての知識も必要になります。そのため、高知日本語サロンでは、有志が集まり月1回のペースで日本語の教え方や教材の使い方の工夫等について勉強会を行っています。これは、ボランティアといえども、サロンに来られる外国人の皆さんからは一様に質の高い日本語教授を求められていることによります。日本語ボランティアに興味のある方は、まずはこの学習会から始めてみてはどうでしょうか。

新たな挑戦をしてみたいと思っている方、前向きなメンバーがたくさんいるサロンに welcome! 異文化だけでなく、日本文化についても新たな発見があると思います。

高知日本語サロン HP : <http://nihongo.grupo.jp/>



学習の様子



浴衣の着付け



浴衣で生花

ヨ ス 麗水情報科学高校(韓国) まんが甲子園オープン参加

高知県国際交流課 主査 岡崎 昭子

横山隆一先生、やなせたかし先生をはじめ、多くの漫画家を輩出している高知県では、毎年8月初めの土日に、漫画家を目指す高校生のため的一大イベント「全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)」を開催しています。



まんが甲子園開会式

本大会では、予選を突破した本選出場校が、ライバルたちと切磋琢磨しながら技術やアイデアを競い、プロの漫画家による審査を受けます。また近年では、出版社の編集者が会場で新人作家を



制作中

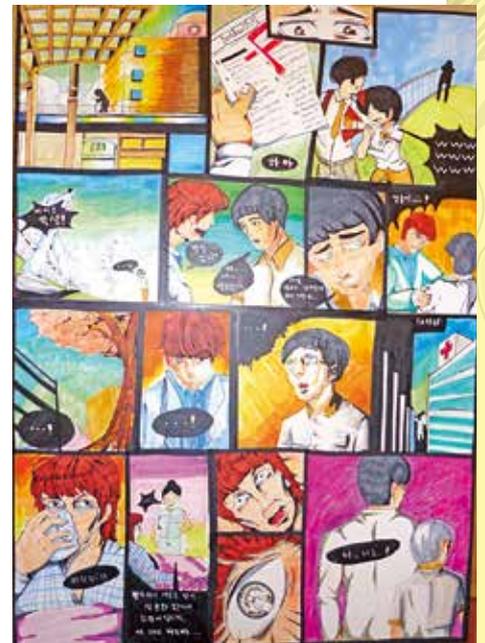
発掘するスカウト制度も導入され、漫画業界で活躍したいと願う学生にとっては、その実現に大きく近づくチャンスが散りばめられた夢の舞台となっています。

第23回目を迎えた今年は、漫画という切り口から、友好交流のある本県と韓国全羅南道との交流を深めることを目的として、麗水情報科学高校の3年生3名にオープン参加していただきました。

韓国においても、漫画やアニメの文化は急速に発展、普及しており、この分野の関連学科を備えた高校や大学も数多くあります。今回、来高した3名も、産業デザイン科で専門的な勉強をしながら、それぞれ、漫画家、イラストレーター、ゲームデザイナーを目指しています。

漫画で競技すること自体は、彼らも慣れたものでした。韓国では、各大学がコンテストを開催します。そこで優秀な成績を取めると、その学校への進学に繋がることもあることから、彼らも折々で受験しているのです。

個々で受験するスタイルが身につけている彼らは、まんが甲子園の活気あふれる雰囲気にとまどいながらも、日本の高校生たちをまねて円陣を組



麗水情報科学高校の作品



審査員講評

み、気合いを入れてから制作に取りかかりました。

テーマは、「LEGEND」です。3人は、壁の落書きスペースに集まり、ストーリーを練りました。

韓国は、人生の成功のため、幼い頃から熱心な教育を受ける超競争社会です。これを受け、学生たちは、学校一の落ちこぼれが、奇跡的に這い上がり、有能な医師へと成長してLEGENDとなるという漫画を描きました。



出張編集部

彼らはオープン参加で、他の本選出場校とともに審査を受けることはできません。その代わりとして、翌日、審査員の先生方から講評をいただけることとなりました。

審査員控室で、プロの漫画家集団と対面した学生たちは、緊張した面持ちで作品を披露しましたが、先生から、画力や配色の工夫、一番大事なシーンにセリフを入れなかった構成などを褒めていただくと、恥ずかしさとうれしさが入り混じった純粋な笑顔がこぼれました。

また、読み手に正確にストーリーを伝えるためには、登場人物をしっかりと描き分ける必要があること、そして感動を与えるためには、何でも自由に表現できる漫画という世界で自在に描写する工夫をよく考えなくてはならないというアドバイスを、ボードに実演しながら丁寧に説明してくださいました。この1時間は、きっと彼らのさらなる成長に繋

がるものと疑う余地のない充実したものでした。

さらに彼らは、出張編集部も訪問し、各自の作品を机の上に並べて、編集者の率直な意見に熱心に耳を傾けていました。近年、韓国では、ネットで1コマずつスクロールして読む漫画が主流となっており、日本の漫画本を念頭ににしたアドバイスは、伝わりにくい部分もあったかもしれませんが、これも平素は得られない貴重な経験となりました。

この週末は、異常な悪天候にみまわれ、主催者は、会場の窓ガラスに叩きつける雨と遠くに見える鏡川の濁流に不安を覚えながら、大会の内容変更に伴う対応に追われていました。牧野圭一審査委員長は、閉会式にて、このような騒然とした雰囲気の中でも、集中力を絶やさず競技に挑んだ学生たちを高く評価されました。

韓国の学生も、日本の学生も、それぞれの青春を注ぎこんで色とりどりの花火を咲かせた熱く美しい真夏の2日間でした。



大会終了後よさこい情報交流館にて

カナダで生活して

西本 未来



私は、海外で英語を勉強するため、カナダでの生活を始めました。カナダを選んだ理由は大自然に恵まれ、多くの感動を味わう事ができると思った事と、治安が良いので安心して生活できると思ったからです。

留学先として、私はバンクーバーを選びました。なぜなら、世界一住みやすい地域に選ばれているし、テレビで見かける度にバンクーバーでの生活に憧れを抱いていたからです。バンクーバーに着いて最初に驚いた事と言えば、アジア系の人々が多かったことです。時にはどこかアジアの国に来たのかと思えるぐらいでした。多くの日本人や日系人も活躍しており、英語が全くダメだった私は、海外での生活を始めるに当たって必要な銀行や携帯電話などの諸手続きを全て助けてもらい、本当にホッ

としました。ホストファミリーは、フィリピンから移住した家族でしたが、食事は日本食と似ており、またバンクーバーには、ラーメン屋、居酒屋、日本食スーパーもあり、簡単に日本の食事やお菓子を手にいれる事ができたため、日本食が恋しくなる事は全くなかったです。こちらでは、語学学校に通っていましたが、学校に行く際にはバスを利用していました。バスや電車等の交通機関がとても充実している上、日本よりはるかに安く利用でき、生活する中で車がなくても不便を感じる事は全くありませんでした。学校では、クラスの半分以上が日本人の生徒で、休日には、クラスメイトとダウンタウンの人ごみを避けるかの様に、船に乗って10分ぐらいした所にあるノースバンクーバーで、カナダの大自然を楽しんでいました。バンクーバーでは、大自然と都会の両方を満喫する

事ができたので、飽きる事がなく毎日が新鮮でした。

バンクーバーでの生活を2ヶ月経験した後、英語の実力向上を目的として、日本人がほとんどいない同じブリティッシュコロンビア州内にあるケロウナという田舎での生活をスタートする事に決めました。ケロウナに来てみると、アジア系の人を見かける事がほとんどなく、ステイ先も白人のファミリーでした。食事は、当然ですが180度ガラリと変わり、本

当に毎日日本食が恋しくなります。ケロウナの人達は、とても親切でフレンドリーなので、生活を共にするのはとても楽しいです。慣れない英語も気長に聞いてくれるため、私にとってとても良い環境だと実感しています。ケロウナでの語学学校に、日本人はクラスに1人いるかいないかで、そのため他国の友達を作る事ができ、自分自身にとって英語を勉強する最適な場所となっています。また、治安がとても良く、素敵な景色も楽しむ事ができるので、私にとって癒しの場所にもなっています。



ケロウナの語学学校のクラスメイト

このように、カナダでの生活を体験して、バンクーバーとケロウナは、初めて海外で生活する私にとって安心して毎日を楽しむ事ができる所だと実感しています。



ノースバンクーバーにあるグラスマウンテン

高知県国際交流員からのごあいさつ

着任の あいさつ

チョウ ケイケツ
張 慧杰 (中国)

初めまして、張慧杰と申します。

「遅咲きのヒマワリ」というドラマを見て、悠然と流れる四万十川や、美しい景色に引き付けられました。また、自分たちが誇れる故郷を作るために地元の人たちが頑張る様子や主人公がいろいろなことを乗り越え、自分の居場所を見つけていくさまに感動しました。このドラマを通して初めて高知のことを知りました。

高知に来て日が浅いですが、いろいろな方々と交流し、様々な体験をしました。これからも中国のことをもっと皆さんに紹介し、また高知家の一員として、自分の居場所を作りたいと思います。少しずつ進む道を切り開いて、高知で私の人生もリニューアルするかもしれないと思っています。



着任の あいさつ

キム ジェ
金 智愛 (韓国)

アンニョンハセヨ(こんにちは)～!

今年の4月から高知県の国際交流員として着任した金智愛と申します。韓国のソウル出身で、3月まで越知町の国際交流員として勤務していました。より多くの県民の皆さんとお会いしたいと思い、県の国際交流員になりましたが、以前とは職場の雰囲気や仕事はかなり違うので、ゼロからやり直す気持ちで頑張っています。市町村と県という両方の経験ができる私は本当にラッキーだと思います。この貴重な時間を大切に、これからも高知県での生活を楽しみながら、皆さんに韓国のことをもっと紹介していきたいです。韓国のことについて知りたいことがあったら、気軽に声をかけてください。よろしく願いいたします!



着任の あいさつ

クレア・マークス (アメリカ)

はじめまして。県庁の新しい国際交流員のクレア・マークスと申します。名字はマークス、名前はクレアですので、遠慮なく「クレア」、「クレアさん」、「クレアちゃん」と呼んでください。東海岸の北に位置するアメリカで一番小さな州のロード・アイランド出身です。あまり知られていないと思いますが、興味があれば何でも聞いてくださいね。

これから国際交流員としての仕事だけではなく、個人としても高知家の温かい人々と強い絆を築いていきたいと思っていますので、ぜひ、お友達になりましょう。高知県の皆さんにお会いできることを楽しみにしています!



退任の あいさつ

マックス・ブランチフラワー
(オーストラリア)

海を眺めて考えごとをした桂浜、五台山展望台から望む高知市内、星がきらめく梶ヶ森、友だちと泳いだ仁淀川、最高の日本の祭り“ザ・よさこい”、外国人の溜まり場「ひろめ市場」など、思い出の場所や風景は僕の記憶から消えることはないでしょう。だから、悲しくても泣かない。いつかその場所に帰るから…。

高知の皆さん、お世話になりました。皆さんと一緒に交流ができて最高の思い出です。本当にありがとうございました。温かい県民性のおかげで毎日仕事を楽しかったです。これからの人生の中で、きっと何度もこの思い出を笑顔で振り返ることでしょう。またいつか、どこかでお会いできることを願って僕の俳句を贈ります。

高知県 ずっと忘れぬ またいつか



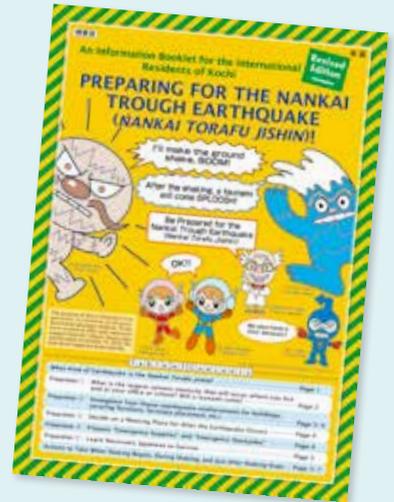
INFORMATION BOARD

南海トラフ地震対策多言語改訂版を発行しました!

2008年3月に初版を世に出した後、あの東日本大震災を経て、高知県がより強く巨大な地震として従来の想定を見直し、それを反映した「南海トラフ地震に備えちょき罍」(2013年12月発行)が全戸配布されたことを受けて、当協会でも新想定を盛り込んだ多言語(英語、中国語【簡体字】、韓国語、インドネシア語、ベトナム語)の改訂版を作成しました。

今回発行した改訂版には、各言語につき「通常版」と「概要版」の2種類があります。「通常版」は、主に永住者や日本人配偶者などの長期滞在者向けのもので情報量は初版と同程度です。これに対し、「概要版」は、主に留学生や技能実習生など比較的短期の在留者向けで、巨大地震と津波から生き抜くために最低限必要な情報を掲載しています。

お知り合いの外国人やご近所の外国人などに多言語改訂版の配付を希望される方は当協会までご連絡ください。当協会のHPでもご覧いただけます。



英語・概要版の表紙▶

国際的視野を広げよう! 「異文化理解講座」開催のご案内

当協会では、高知県国際交流員や高知大学等の留学生を講師に招き、県民の皆さんに外国の多様な文化や習慣などを紹介する「異文化理解講座」を年2回(6月及び11月)開催しています。この機会に外国を身近に感じてみませんか?

なお、11月開催の「異文化理解講座」の詳細につきましては、10月上旬頃に当協会HPにてご案内予定です。



6月開催の韓国講座では、▶
日韓文化の違いについて学びました

「国際ふれあい広場2014」を開催します!

今年も国際協力に関する総合イベント「国際ふれあい広場2014」をJICA四国と共催で下記のとおり開催します。お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

- 主催:公益財団法人高知県国際交流協会
JICA四国(独立行政法人国際協力機構四国支部)
- 日時:10月19日(日)10:00~16:00
(※飲食販売は売切次第終了)
- 会場:ひろめ市場よさこい広場、大橋通商店街

主な内容:

- ガーナ・モンゴル・中国・韓国料理の販売
- グアテマラ・ラオスの民芸品展示販売会
- JICAボランティア相談会、体験談トーク
- 県出身の海外ボランティアの紹介
- 国際協力・国際交流パネル写真展
- その他、アジア音楽・ハワイの踊り、等

★主催団体以外の出展団体紹介(順不同)★

- ①奥村多喜衛協会
 - ②在日本大韓国民団高知県地方本部
 - ③国際茶屋
 - ④コデアアルテコを応援する会
 - ⑤日中友好中国帰国者の会
 - ⑥特定非営利活動法人Brain
 - ⑦高知SGG善意通訳クラブ
 - ⑧高知県青年海外協力隊OB会
 - ⑨高知大学医学部アジア・僻地医療を支援する会
- ※各団体の催物内容は当協会HPで確認できます。



◀昨年の様子
(インドネシアダンス)

